

職員向け 事業所評価2019

アンケート実施期間: 8/15 ~ 9/14

回収率: 52.9% (37 / 70)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11%	40%	49%	・利用者の人数が増えスペースが足りなくなってきました。休憩室や相談室の位置を変更したり外部倉庫を設置したりと工夫をしています。 ・トイレの絶対数が足りなくなっていますので、脱衣室の活用などで工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5%	54%	41%	・利用者増加に職員数が追いつかないため、完全な1対1対応ができない日が増えていきます。 ・職員増員と、複数対応のスキルを上げていく必要があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	73%	24%	3%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	32%	54%	11%	・短時間勤務の職員しか振り返りに参加していない状況があります。長時間勤務の人が送迎に出してしまうためです。 ・ミーティングのスタート時間を早めるなど職員の話し合いの時間を確保できるような工夫も検討します。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	43%	41%	11%	・アンケート結果を職員ミーティングなどで読み合わせをして周知するようにします。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	19%	3%	・内・外部研修に行く機会は比較的充実しています。 ・新入職員に対しての研修について、期間や回数を見直したいと思います。
適切な 支援の 提供	7	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成/定期的に見直ししているか	68%	24%	5%	
	8	活動プログラムの立案をチームで行っているか	32%	46%	16%	・個別活動が多いためチームでのプログラムは多くはありません。 ・大学教授を定期的に招いて、ケース検討を行いました。 ・利用者に「これをしよう」と話しても担当者が一定でないため、継続しにくい面があります。個人ファイルなどを使って情報共有を図っていきます。
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	24%	51%	20%	・毎日同じことの繰り返しになりがち傾向がみられます。気切感を取り入れた活動など、工夫していきます。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	22%	49%	22%	・土曜日や長期休暇中は利用者とのバランスが崩れるため、外出活動などがしにくい状況です。土曜、長期休暇中の活動にも幅を持たせるよう計画していきます。
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる活動を計画しているか	49%	35%	13%	・個別活動がほとんどですが、月2回のイベントのほか、集団活動も適宜行っています。
	12	支援開始前には職員間で打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	43%	33%	24%	・職員打ち合わせは毎朝行っていますが、送迎などでいない職員も多く、全体での共有が難しい状況です。 ・部屋ごとにホワイトボードを置き、当日の動きや連絡事項を確認しやすいよう工夫しています。

13	支援終了後には職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	57%	40%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後の振り返りは毎日行っていますが、送迎や放課後支援、延長支援アなどで参加できない職員も多い状況です。 ・個人ファイルに必要な情報を記入し共有するようにしています。
14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	62%	35%	3%	

関係機関や地域との連携	15	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	65%	30%	5%	
	16	医療的ケアが必要な子どもについては、主治医等と連絡体制を整えているか	54%	33%	8%	
	17	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	19%	30%	51%	・障害のない子どもや児童館との交流はありませんが、同じ事業所内の高齢者デイとの交流はときどき行っています。
	18	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	38%	22%	・秋祭りなどのイベントを開催しています。
保護者との連携	19	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	70%	25%	5%	
	20	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	43%	43%	11%	・主任を新たに設けたので、機能していくように体制を整えています。 ・所長、主任、部長、主担当など窓口を多くしてご相談に応じやすくしています。
	21	家族会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	54%	33%	8%	・家族会は年2回開催しています。 ・家族会活動として、イベント時ボランティア、除草作業、研修会開催などを計画、実施しています。
	22	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	27%	3%	
	23	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	90%	5%	5%	
	24	保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	19%	3%	
	25	個人情報に十分に注意しているか	65%	32%	3%	・利用表の配布を全員分が見られるものから個人のもののみに変更しました。
非常時等の対応	26	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	54%	35%	8%	・緊急マニュアル等については利用者へのお知らせが十分ではないので、部内誌に載せるなど文面で目に触れることができるようにします。
	27	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	67%	19%	11%	・避難訓練は年2回行っています。利用頻度が低い利用者は経験しにくいので、部内誌の記事などにして、お知らせできるようにします。
	28	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	57%	35%	5%	
	29	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がなされているか	79%	16%	5%	・アレルギー対応のインシデントがありました。食事札を改良するなどして、改善に努めました。
	30	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	84%	8%	5%	・ヒヤリハット、事故報告は職員ミーティング、職員用SNS(kintone)、朝の打ち合わせなどで共有、家族連絡会でもすべてお伝えしています。